

新

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だよりの新刊は、随時購入したい。モリモリ書店で紹介した本が英語

モリモリ書店

第7話 R15.9(木)
「昔話を新しい見方でとらえると…」

★今回、紹介する本は、『むかしむかしあるところに、死体がありました。』（著/青柳碧人、出版/双葉社）です。

『浜村渚の計算』シリーズで有名な作者の最新短編集。まさかの、昔話とミステリを融合させた、とっても独創的な推理小説です。

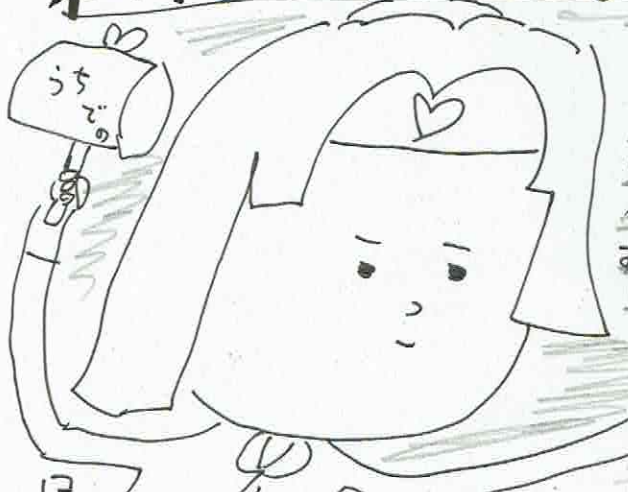
みんながよく知っている昔話の物語に、ミステリの要素が絶妙に入ってきます。殺人の容疑をかけられる一寸法師。花咲かじいさんを殺した犯人を見つけようとする犬。つるの恩返しに隠された愛憎劇。竜宮城で起きた密室殺人事件を目撃する浦島太郎。壮大な復讐劇に変化する桃太郎と鬼の物語…。

どの話も、昔話をベースにして、「うちでのこづち」やら「玉手箱」なども登場し、空想と現実的なミステリが見事に融合した作品です。昔話に対する印象が変わるはず。笑えますよ。



五月サケイ子のイラストが、またすばらしいです。

『あなた様のことは、私、いっまでも忘れません。』 (p.180)



おなじみのキャラばかりだけど、いっもとちがうイメージが。おもい。



こんな突飛な設定なのに、人間がよく描かれてる。

『つうは涙もぬぐい、鶴の姿に戻りました。』 (p.181)